

水総第1365号
平成20年10月27日

国土交通省道路局長 様

熊本県球磨郡水上村
村長 成尾 政 紀



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

「様式①」

熊本県水上村

・都市に集中した施策を感じる。

国レベルでいえば、首都圏中心とするアクセス、県では、県庁所在地から90分構想とか、都市部から見た施策となっている感じがする。地方や中山間地から考えたら、その地域の商業中心地等へのアクセス道路の施策や県境にある町村は他県への交通の流れが重要と考える。

国、県単位での計画も重要だが、九州なら九州単位での施策が不可欠と考える。基幹となる国道を集中的に整備し、バラまき予算はしない方が良いのではないか。

・都市と中山間地との投資経費の格差がある。

・中山間地における生活道路の整備

・高齢者に対する交通安全対策

歩道、ガードレールの整備 最小でも2車線化への実現

・道路標識の整備

・県境までの国県道の早期整備

・迂回路が整備されていない道路の整備

・交通安全施設の整備

カーブミラーの整備

「現状」

- ・ 国県道とも県境に至る道路が未改良となっている。

「課題」

山間地であるため、工事費の単価が高い

投資的効果だけで判断されたら、改良は不可能で、また交通量だけの判断は、地域間交流としての道路改良はできない。

改良されれば交通量は増加すると考えるが、現在は国県道すべて行き止まり状態である。このため、他県への車の流れが急激に減少するため、早急な幹線である国県道の改良を進めること必要である。

「現状」

- ・ 国県道に限らず村道に至っても、大雨時等の崖崩れや決壊の恐れが多いので、危険箇所の調査を含め、災害に強い、安心して安全に通行できる道路の整備を望む。

- ・ 大型トレーラー等が通行できない状況の所があり、産業振興等に支障をきたしている。

- ・ 山間地のため、工事費が高く改良がなかなか進まない。

「課題」

- ・ 投資効果、費用対効果の問題が浮上している。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー２ 地域の目指すべき将来像

「様式③」
熊本県水上村

- ・改良済の区間となっているが、交通量や車輛の大型化により、離合（改良時の構造令にそぐわない）が困難である。改良済の見直しを１０年か２０年単位に改めてもらいたい。
（交通量はすくなくとも、車輛は大型化しているため）
- ・都市部は交通量が増大していて、道路整備の必要性はわかるが、都市部と田舎の交通体系は基本的に違いがあり、まして田舎では車は生活手段であり、足である。
地方（田舎）ほど、道路に対する財源が必要である。
- ・観光資源として活用できる道路整備
美しい景観整備の整備（樹木、花などの植栽）
但し、維持管理費用の問題がある。